

エッセンバッハ、ダルベルト、藤田真央、中川優芽花などを輩出
「本物のピアニストのためのコンクール」と言われることもある

スイスの難関

クララ・ハスキル国際 2023 優勝

世界が注目する新星が日本デビュー！
東京1公演のため
この夏“初来日”

マグダレン・ホー
ピアノ・リサイタル

Program

- ▶ ヘンデル：組曲第5番 ホ長調 HWV430 《調子の良い鍛冶屋》つき
- ▶ ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第7番 ニ長調 Op.10-3
—*—*—*—
- ▶ シューベルト（リスト編）：《水に寄せて歌う》《万霊節のための連禱》
- ▶ シューマン：《フモレスケ》変ロ長調 Op.20

※プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

© Kaupo Kikkas

2026 7/22

（水）19:00開演（18:30開場）



浜離宮朝日ホール

（大江戸線「築地市場駅」すぐ）

全席指定 一般 ¥4,500 / 学生（24歳以下、当日要証明書） ¥2,000 フレイガイド：チケットぴあ / 朝日ホール・チケットセンター / マホキャスト

就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。[イベント託児・マザーズ（要予約）0120-788-222]

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990（日・祝除く 10:00-18:00） <https://asahihall-ticket.jp/>

公演詳細と
チケットは
こちらから



ピアノの専門家たちが絶賛 ヨーロッパピアノ最前線!!

10歳で渡英、

類い希れな才能を開花させ

聴く者を取りこにする

22歳の衝撃的才能

スイスが誇る難関ピアノ・コンクール、クララ・ハスキル国際2023でわずか19歳で優勝し一躍脚光を浴びたのがマレーシアの逸材マグダレン・ホーだ。

ピアノ関係者たちが「天才」「とんでもない」と絶賛している。実際、類い希れな音楽が素晴らしく、ネットで一聴「これはいい!」と唸らされてしまった。ぜひ日本の聴衆にもその素晴らしい才能を知ってほしいと思っていたところ、たまたまワルシャワでミーティングをしたエージェントから手渡された資料に彼女の名前が掲載されていた。驚いて聞けば「夏にアジアに行く」と言う。なんと偶然だろう。これは「呼ぶべし」ということではないか。すぐに話を進め、今回の初来日が実現することとなった。実現したことで恐らく自分が一番わくわくしている。

ヨーロッパのピアノ最前線がここに。
どうかチケットを買ってご来場下さい!

山根悟郎



© Kaupo Kikkas

Magdalane Ho

マグダレン・ホー | ピアノ

マレーシア出身。2023年、19歳にしてクララ・ハスキル国際ピアノコンクールで優勝し一躍国際的な注目を集めた。英国の名門パーセル・スクールでパツィー・トーに師事。現在はロンドンの王立音楽大学にてドミトリー・アレクセーエフのもとで研鑽を積んでいる。

2025-26シーズンはチューリヒ・トーンハレにリサイタル・デビューし、トマス・セナーゴ指揮ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団、コルニリオス・ミハイリディス指揮のリトアニア国立交響楽団と共演。そのほか、アメリカをツアーし、メクレンブルク=フォアポンメルン音楽祭、ラインガウ音楽祭、シューマン音楽祭、リール・ピアノ・フェスティバル、マイントツのSWR Kulturtour 国際ピアニスト・シリーズなどに出演。

2024-25シーズンはアムステルダム・コンセルトヘボウ、ハンブルク・ライスハレ、パリ市立劇場、ミラノスカラ座に出演し、

コルネリウス・マイスター指揮スイス・ロマンド管弦楽団、キリル・カラビッツ指揮南西ドイツ放送交響楽団、ラファエル・パヤレ指揮英国王立音楽大学交響楽団と共演した。

クララ・ハスキル国際コンクールでは聴衆賞、若手批評家賞、チルドレンズ・コーナー賞も受賞し、英国のピアノ専門誌『インターナショナル・ピアノ』にて注目アーティストとして採り上げられた。2024年11月、国際ドイツ国際ピアノ賞で優勝。ヴェルビエ音楽祭アカデミー生に選出され2025年8月にミン・ソン、ジャン=エフラム・バヴゼ、レナ・シェレシェフスカヤのマスタークラスを受講した。

2024年よりダニエル・ミュラー=ショット、シモン・トルプチェスキ、ピエール・ジュニソンらと共演し、ピョートル・アンデルジェフスキ、エリソ・ヴィルサラアゼ、アロン・ゴールドシュタイン、アンドレアス・シュタイアーからも学んでいる。